

平成21年度 第9回 保見地域会議 会議録

日時：平成21年11月20日（金） 19：00～20：45

場所：保見交流館 中会議室

出席者：地域会議委員：16名

会長 鈴木 進

副会長 井原 邦和

委員 浅井 雅之 井原 高俊 粕谷 修 木下 優嘉

篠田 修 田中 鉦俊 西村 靖彦 平野 鋒芳

藤原 敏範 正木 恒男 松原 三良 水嶋 清行

村瀬 正幸 渡辺 秀己

猿投支所 今井 鉦 篠田 博 西塔 隆 澤田亜紀

傍聴人：1名

オブザーバー：保見交流館長

次第

- 1 地域会議会長あいさつ
- 2 協議 地域課題について
わくわく事業アンケートの結果について
- 3 情報交換

議事（要約）

協議1 地域課題について

地域予算提案事業について事業概要、方策展開、予算積算書について最終確定版の説明。変更点などを主に説明。また、事業の役割分担や実施方法について検討。

《主な議論》

委員 交通安全講習会（市の従来の制度）は小学校区単位で実施した方が集まりやすい。講師料がいる人を講師で呼ぶ場合は一同に集めるとよい。

事務局 安全安心マップを作成に関しては、完成したマップを用いてウォーキングをするという提案があった。交流館事業を実施している事務局の視点から交流館長の話聞いてみたいと思う。

オブザーバー ウォーキングの目的に合致していれば協力できると思う。
H21年度は5月に実施した。通常、今年度の人で来年度の計画をしている。冬に実施したこともある。マップの作成がH22年度になると、マップを見てからコースなどの計画を作るのでH22年度中の事業実施は難しい。

事務局 安全安心マップは小学校区ごとに作られた通学路を基点としたものをベースとして保見地区全体で作成してはと思っている。また、中京大のグループなどの活用も考えてみてはと思うので交流館での活動状況を教えてほしい。

オブザーバー 中京大学の研究テーマで3つのグループがあり、地域との共働ということをテーマに活動しているグループがある。外国の子どもたちと自国の食べ物を一緒に作り交流したり、交流館の

ふれあいまつりなどで活動している。一緒にマップを見て回ろうということは不可能ではない。

わくわく事業アンケート結果について

委員 個人的にはわくわく事業が浸透しているかと疑問に思うことがある。

委員 伝統芸能についてはこの地区にはすばらしいものがある。わくわく事業を使って継承していきたい。

委員 地域予算提案事業の各地区の金額を教えてほしい。地域の人達から他の地域と比較して保見地域が少ないように受けとめられるのではないかと心配だ。

事務局 他の地域では、安全のみどり線の設置を考えているところがあり、その部分の予算が大きい。地域予算提案事業は地域の課題を解決するために実施するものであり、金額が大事なことはない。

委員 交通安全の看板は猿投台の広告塔のようなものを提案した方がよいと思う。かなり金額がかかっていると思うがそれくらいのもを提案したい。

事務局 すでに検討したものを提出済みであり、今日はその報告である。

委員 交通安全看板を各自治区にということだが、自治区の主要な入り口につけては。大きいものを私有地に立てると承諾がもらえないこともある。他のバランスを考えながら、実行段階に自治区で実施してもらいたい。

情報交換 傍聴人との情報交換

傍聴人 保見の地域会議を傍聴した感想

住民が参加してまちづくりを進める時に、地域の情報を知っている人がいるとスムーズに行くように思う。また、事務局が行政でいろいろな情報を知っているので、もっとお互いに関連することを調べて会議にのぞみ、情報提供するとよいと思う。

13自治区それぞれの地域の特色があり、1つの課題をまとめることは難しいと思った。地域会議委員の方もいろいろな意識の違い、考え方があるのでいろいろな意見があって、活発になってよいと思う。

「市民主体のまちづくりの在り方」について研究しているので、地域会議委員の皆さんにアンケートをお願いしたい。

事務連絡

次回の会議について

平成22年1月15日(金) 19:00~

保見交流館 中会議室 「地域課題について」